

# 課題解決力の深化 地域活性化戦略



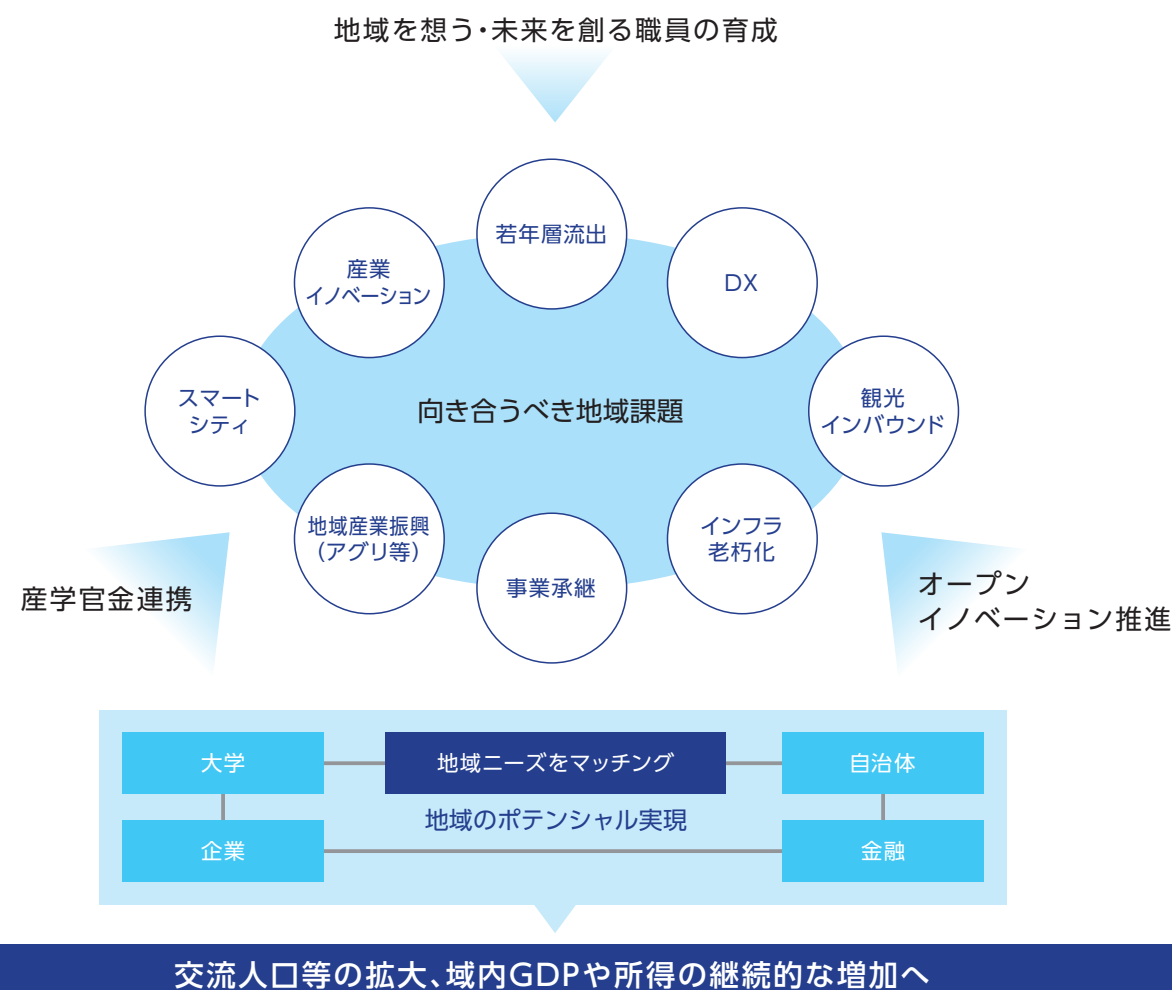
## 戦略概要

当社グループは北海道・北陸地域を中心に、広域金融サービスを展開し、地域経済の発展に貢献してきました。一方で、人口減少や少子高齢化による地域の労働力が不足していること、企業流出に伴う地域経済の衰退など、各地域にはさまざまな課題があると認識しています。地域企業や地域住民との丁寧な対話を通じて、地域の真の困りごとに対して真正面から向き合い、当社グループの広域店舗網や機能を最大限活用し、産学官金連携や、観光産業を起点とした地域の魅力向上支援、まちづくりや企業進出支援などに取り組むことで、地域課題の解決および地域経済の活性化に取り組んでいきます。

### 目指す姿・戦略の方向性

- 未来に向けた事業創出・産業振興のために産学官連携に取り組み、当社グループの営業基盤における地域経済活性化に貢献
- 地域資源や広域、エリア連携を活用した観光推進およびまちづくり支援による地域課題解決と新たな収益源の獲得

### 課題解決のエコシステムを創り、世界と戦える地域の「稼ぐ力」を育てる



## 具体的な取り組み

### 産学官などさまざまな団体との連携

地域が抱える多様な課題に対しては、当社グループだけではなく、さまざまなステークホルダーとの連携が不可欠であり、交流人口等の拡大、域内GDPや所得の継続的な増加へさまざまな取り組みを強化します。今年度新たに策定したパーパス「地域を超えて、輝く未来を創る。」を実現するため、広域金融グループの強みを活かしながら、未来に向けた事業創出・産業振興のために産学官連携に取り組み、当社グループの営業基盤における地域経済活性化に貢献します。

#### ・観光産業を柱とした地域活性化支援

北海道および北陸地域には、雄大な自然、温泉などの観光資源、多様な食材など、国内外に誇れる魅力を多数有しています。両地域の魅力をさらに高めるべく、観光関連団体や自治体との連携を強化していきます。また、その取り組みを通じて、魅力的な地域に企業や人を呼び込み、まちづくりや地域経済の活性化につなげていきます。

#### 行政・観光関連団体等との連携事業

- ・自治体および観光関連事業者等との連携による観光コンテンツ創出等地域ブランディング支援
- ・各地域DMO等との連携による地元観光事業者の支援

#### 企業誘致・進出支援によるまちづくり

- ・ブランディングした地域の魅力発信により、新産業を含めた企業および人材を誘致し、サステナブルなまちづくりへ

### 地域資源の活用と新たな産業創出による地域の稼ぐ力の育成

当社グループは、「課題解決のエコシステム」を地域に根付かせ、世界と戦える産業基盤の構築を目指し、地域資源の活用と広域連携による新たな価値創出に取り組んでいます。観光や農水産、文化資産といった地域ならではの強みを磨き上げ、収益機会へと結びつけることで、持続可能な経済循環を生み出すことを目指しています。

ほくほくキャピタルは、福井県の産学官からなるサバの完全養殖実用化研究「さばイバル・プロジェクト」を支援しています。本プロジェクトは「令和7年度TeSH GAPファンドプログラム ステップ2」に採択されており、ほくほくキャピタルは事業化計画・資金調達計画の立案や販路開拓などを通じて、研究成果の事業化を後押ししています。2027年の事業化を目指し、地域の水産資源を活かした新たな成長産業の創出に貢献しています。



北陸銀行は、老朽化した建築資産の再活用によるまちづくりを後押しする「アセットリノベーション・ファンド」へ出資しています。歴史的建築物を活かした観光・交流拠点の整備を行う株式会社小松DMCへの投資を通じて、地域文化の継承と経済活性化の両立に貢献しています。



北海道銀行は、フランスの老舗ワイナリー「ドメヌ・ド・モンティエユ」の北海道進出に際し、行政との連携支援や金融面でのサポートを通じて、地域資源を活かした新たな産業創出を後押ししています。冷涼な気候を背景に、道内には60を超えるワイナリーが集積する中、海外有力ワイナリーによるぶどう栽培とワイン醸造の一体的な事業展開は、地域の農業・観光資源の高度化に資する取り組みです。こうした先進事例への伴走を通じて、地域の産業基盤の強化と新たな成長領域の育成に貢献していきます。



### 未来に向けた事業創出により、地域をブランディングしていく



ほくほくフィナンシャルグループ  
営業戦略部副部長  
兼 北海道銀行法人ソリューション部長  
千谷 伸之

当社グループは、広域な営業基盤をもつ地域金融グループとして、主に北海道・北陸の地域で地域活性化に取り組んでまいりましたが、まだまだ道半ばであり更なる強化が必要だと考えております。一方国においては、これからの10年を見据え、地域住民や産・官・学・労・言・土等が一体となって、この国の在り方や経済・社会を変革する大きな流れを創り出していく「地方創生2.0」の考え方が示されました。

地域における真の困りごとを解決するためには、わたしたちだけでは不十分だと認識しております。産業界、行政、学界等と当広域金融グループの連携により、お互いの強みや情報を活かし、地域のためにできることを考え、実行することで、わたしたちの大切な地域の経済活性化に貢献してまいります。これによりグループパーパスである「地域を超えて、輝く未来を創る。」を実現させます。